

議会だより しすし /

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-382-2331(直通)



No.220

令和8(2026)年8月3日発行

写真/令和8年7月11日
馬橋香取神社獅子舞奉納



議会HPは
こちらから
Check!

6月
定例会

補正予算など議案審議・・・・・・・・・・ P2~P4

議会改革特別委員会調査結果報告・・・・・・・・ P4

委員会・本会議での審議結果・・・・・・・・ P5~P7

一般質問 議員9人が町政を問う・・・・・・・・ P8~P13

自治功労者特別表彰・現地調査の実施・・・・・・・・ P13

裏表紙

健康推進員の皆さんに聞きました・・・・・・ P14

6 月
定例会

議案審議

暮らしを守る予算が前進
水道料金免除・子育て支援・防災対策など

6月定例会概要

6月定例会は、6月2日から6月12日までの11日間の会期で開催され、町長から提案された議案22件と議員から提案された発議案2件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案等は、いずれも原案のとおり可決・承認・同意しました。

また、町長から「青少年交流の家裁判の判決確定に伴う対応について」や「令和8年度ごみゼロ運動について」「国際交流事業（受入れ）」について（ドイツ・ドルフエン市ギムナジウム校）の行政報告が行われました。

一般質問は、9名の議員が2日間にわたり行い、子育て支援や農業問題など町政全般について質問しました。
（一般質問は8頁～13頁に掲載）

議案第1号

専決処分の承認

青少年交流の家に係る裁判の判決確定により、建物の補償金及び弁護士への委託料の経費に係る予算を緊急に補正する必要があることから、地方自治法の規定により、令和7年度酒々井町一般会計補正予算（第10号）を3月19日に専決処分したことから、同条第3項の規定により議会の承認を求めるもの。

歳入歳出それぞれ1,022万4千円を増額し、補正後の予算を81億6,475万6千円とするもの。

《賛成全員で承認》

議案第6号

一般会計予算を増額補正

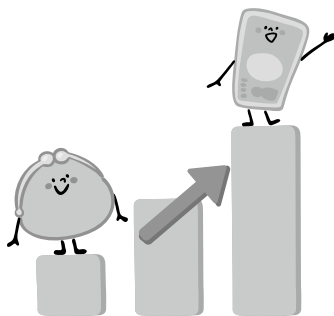
歳出では、子ども・子育て支援事業、水道事業会計への繰出経費及び企業誘致事業などの緊急を要する経費を計上し、歳入では、水道事業会計繰出金への繰出経費及び住宅耐震事業の歳出に伴う国・県支出金、子ども・子育て支援事業の歳出に伴うコミュニティ助成事業助成金等の増額補正を行うもの。

歳入歳出それぞれ7,441万6千円を増額し、補正後の予算を76億2,197万8千円とするもの。

《賛成全員で可決》



判決が確定した
青少年交流の家



この事業に注目！

水道料金を全額免除

8月から9月検針分

物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金等

物価高騰の影響による町民生活及び経済活動を支援するため、官公署を除く全ての利用者を対象に2ヶ月分の水道料金を全額免除します。



4,754万9千円

子育て支援センターへ
複合遊具の設置

「コミュニティ助成事業助成金」

子育て支援センター「あいあい」に複合遊具を設置し、親子の交流と子どもの健全な成長を支えます。



934万3千円

地震に備えて
わが家の耐震化

耐震に関する補助金

地震に強いまちづくりを進めるため、耐震診断・耐震改修工事等に要する費用の一部を補助します。

208万円

議案第9号

水道事業会計を増額補正

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」及び千葉県の「水道料金減免支援事業特別交付金」を活用し、令和8年度中に実施を予定する水道料金の免除に伴い、給水収益の減額を行うもの及び一般会計並びに県補助金の増額を行うもの。

《賛成全員で可決》

議案第11号

監査委員の選任につき
同意を求めることについて

前任の門脇尚樹 監査委員が一身上の都合により辞職されたことに伴い、新たに平鹿邦明氏を監査委員として選任したく、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるもの。

《賛成全員で同意》



ひらか くにあき
平鹿 邦明 氏

議案第12号から19号

農業委員会委員の任命8件に同意

任期満了に伴い、非認定農業者3名を含む8名を酒々井町農業委員会委員の任命について議会の同意を求めるもの。
《それぞれ賛成全員で同意》



たけお けんいち
竹尾 謙一 氏



みやた さなえ
宮田 早苗 氏



きょうそう こういち
京増 孝一 氏



いしわた じゅんいち
石渡 潤一 氏



いしばし よしひろ
石橋 義弘 氏



いいた たかお
飯田 隆男 氏



いわさわ きょうこ
岩澤 京子 氏



ふじさき しげる
藤崎 茂 氏

議案第20号
国民健康保険特別会計を
増額補正

令和7年度国民健康保険特別会計決算における赤字状態を解消するため、令和8年度国民健康保険特別会計の歳入から繰り上げて充用するために要する経費を補正するもの。

歳入歳出それぞれ73万6千円を増額し、補正後の予算を19億1,198万9千円とするもの。歳出は、繰上充用金を増額し、歳入は、基金繰入金を増額するもの。

《賛成全員で可決》

議案第21号
財産の無償貸付について

旧特定加工品加工所「味だより」について、リノベーション付き貸付方式により事業者を公募したところ、「酒々井事業共創コンソーシアム代表 有限会社高田商店」が選定され、リノベーション期間を含め、契約日から最大6か月間を無償貸付けとして契約を締結するにあたり、議会の議決を求めるもの。
《賛成全員で可決》

議案第22号
財産の取得について

指定避難所である町立小中学校3校の体育館に各1台、酒々井コミュニティプラザに2台の移動式エアコン（スポットクーラー）計5台を導入設置するため、5月27日に一般競争入札を実施し、登録株式会社（あさ）が落札し、同社と78万5千円で仮契約を締結したことから議会の議決を求めるもの。
《賛成全員で可決》

報告

報告第1号
一般会計予算繰越明許費
繰越計算書

「馬橋川沿岸盛土撤去事業」など繰越明許費を設定した5事業について、翌年度に繰り越す額が確定したことから、地方自治法施行令の規定により、令和7年度町一般会計予算繰越明許費繰越計算書のとおり議会に報告するもの。

報告第2号
介護保険特別会計予算繰越
明許費繰越計算書

国が示した介護情報基盤との

連携に関する介護保険システムの適合基準日の変更により、繰越明許費を設定した「介護保険DX（介護情報基盤）対応委託費」について、翌年度に繰り越す額が確定したため、令和7年度町介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書のとおり議会に報告するもの。

繰越明許費とは

歳出予算のうち、予算成立後の事由によって、その年度中に支出の終わらない見込みのものについて、翌年度に繰り越して使用すること。

報告第3号
水道事業会計予算繰越
計算書

「導配水管耐震化実施設計業務委託」について、予算繰越の処理を行ったため、議会に報告するもの。

報告第4号
下水道事業会計予算繰越
計算書

「大規模下水道管路特別重点調査等事業」「ストックマネジメント計画策定調査事業」等について、予算繰越の処理を行ったため、議会に報告するもの。

請願

請願第1号

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

教育の全国水準や機会均等を確保する義務教育の基盤づくりは国の責務であり、そのために設けられたのが義務教育費国庫負担制度である。国においては、教育水準の維持向上と地方財政の安定のため、義務教育費国庫負担制度の堅持を求めるもの。

《賛成多数で採択》



請願第2号

「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

子どもたちの健全育成を目指し、豊かな教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を進める必要があるため、教育予算拡充を求めるもの。

《賛成多数で採択》

討論

請願第2号

「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書に反対の意見

小坂 和也 議員

少子高齢化の進展に伴い、社会保障費が増額し、現役世代の負担感も高まっている。今日の日本社会の安定は義務教育によって支えられた分厚い中間層の存在によるところが大きいと考える。しかし、近年は社会保障費などにより、現役世代の負担感が増し、中間層の疲弊も指摘されている。そのような状況において新たな予算拡充を求めるなら、財源や将来世代への影響も併せて議論されるべきである。加えて本請願と同趣旨の内容は長年にわたり継続して提出されているが、少子化の進行やGIGAスクール構想の推進など、教育環境が大きく変化している中においては、予算拡充を求め続けるだけではなく、現在の課題や施策の効果について改めて検証する視点も必要であると考え反対する。

請願第3号

核兵器禁止条約に署名批准を国に求める意見書提出に関する請願書

世界が核兵器廃絶へ大きな一歩を踏み出す中、日本政府は核兵器禁止条約に反対し続けている。日本政府の姿勢は国際的にも厳しく批判されている。日本は直ちに同条約に署名・批准し、唯一の戦争被爆国としての役割を果たすときである。

《賛成少数で不採択》

▼請願とは▲

国民に認められた憲法上の権利のひとつであり、国や地方公共団体に対して、特定の事項に関して意見や要望を文書で伝えることです。

なお、提出にあたっては1名以上の議員の紹介が必要です。

討論

賛成

請願第3号
核兵器禁止条約に署名批准を国に求める請願書に賛成の意見

竹尾 忠雄 議員

米国とイスラエルによるイランへの無法な攻撃により、子どもや一般市民が亡くなっている映像をテレビで見ている国民は

意見書



早く戦争が終わってほしいと思っている。いつ核兵器が使われるか心配である。「核兵器は人類と共存できない」と訴えてきた、広島、長崎の被爆者の願いを一日も早く実現するために唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約に署名、批准するよう願う国民は大多数ではないか。

発議案第1号

義務教育費
国庫負担制度の堅持に関する意見書

請願第1号が採択されたことを踏まえ、その趣旨に沿い、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に意見書を提出するもの。

《賛成多数で可決》

(提出者) 酒瀬川 芳子 議員

他4名

発議案第2号

国における2027年度教育予算拡充に関する意見書

請願第2号が採択されたこと

議会改革特別委員会 調査結果報告書

町の公益に関することについて、国や県などの関係行政庁に対して、町議会の意思として提出する文書のことです。

▼意見書とは▲

を踏まえ、その趣旨に沿い、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に意見書を提出するもの。

《賛成多数で可決》

(提出者) 酒瀬川 芳子 議員

他3名

議会改革特別委員会
調査結果報告書は
こちらから



酒々井町議会では、町議会の在り方などについて、調査・検討するため、令和6年6月定例会において議会改革特別委員会を設置し、調査・検討を重ねた結果を6月12日の本会議において、江澤議会改革特別委員会委員長より報告が行われました。

各常任委員会での 審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、くらし安全協働課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎小早稲／○白井
高崎／大石
綿貫

	件 名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第6号	令和8年度酒々井町一般会計補正予算(第1号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
請願第3号	核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出に関する 請願書	1	3	不採決

教育民生常任委員会

■健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員 ◎酒瀬川／○白井
地福／川島／小坂
木内(議案第20号審査時以外欠席)

	件 名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第6号	令和8年度酒々井町一般会計補正予算(第1号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第7号	令和8年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	4	0	原案可決
議案第8号	令和8年度酒々井町介護保険特別会計補正予算(第1号)	4	0	原案可決
議案第20号	令和8年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	5	0	原案可決
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する 請願書	4	0	採択
請願第2号	「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択 に関する請願書	3	1	採択

経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、文化観光課、農業委員会についての審査を担当

委員 ◎江澤／○竹尾
齊藤／綿貫
岡野

	件 名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第6号	令和8年度酒々井町一般会計補正予算(第1号)※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第9号	令和8年度酒々井町水道事業会計補正予算(第1号)	4	0	原案可決
議案第10号	令和8年度酒々井町下水道事業会計補正予算(第1号)	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

賛成…○ 反対…× 除斥…除 (議長は採決に加わりません)

議案番号	6月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号 採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白石	大石	酒瀬川	欠員	欠員	川島	齊藤議長	竹尾	地福	江澤	高崎
〈 専決処分 〉																		
1	専決処分の承認を求めることについて [掲載：2ページ]	承認 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
2	専決処分の承認を求めることについて …地方税法等の一部改正に伴い、酒々井町税賦課徴収条例の一部を改正する条例を専決処分により制定、公布したことから承認を求めるもの	承認 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
3	専決処分の承認を求めることについて …地方税法等の一部改正に伴い、酒々井町都市計画税条例の一部を改正する条例を専決処分により制定、公布したことから承認を求めるもの	承認 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
4	専決処分の承認を求めることについて …地方税法等の一部改正に伴い、酒々井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例を専決処分により制定、公布したことから承認を求めるもの	承認 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 条例の一部改正 〉																		
5	酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について …税制改正に伴い、非課税者に係る特例の減免を実施するため、所要の改正を行うもの	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 令和8年度補正予算 〉																		
6	令和8年度酒々井町一般会計補正予算（第1号） [掲載：2ページ]	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
7	令和8年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) …マイナンバーカードと国民健康保険証の一体化に伴うもので、10万3000円を増額し、19億1125万3千円とするもの	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
8	令和8年度酒々井町介護保険特別会計補正予算(第1号) …システム改修に伴うもので、19万8千円を増額し、19億7175万6千円とするもの	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
9	令和8年度酒々井町水道事業会計補正予算(第1号) [掲載：2ページ] …収益的収入を273万4千円増額し、5億3774万7千円に、収益的支出を66万1千円増額し、5億598万円とするもの	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
10	令和8年度酒々井町下水道事業会計補正予算(第1号) …圧送管の修繕、管路の改築を実施するため、収益的支出を399万3千円増額し、5億1,814万6千円に、資本的収入を990万円増額し、1億9,558万2千円に、資本的支出を996万6千円増額し、3億2,339万6千円とするもの	可決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 監査委員の選任 〉																		
11	監査委員の選任につき同意を求めることについて [掲載：2ページ]	同意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○

本会議での 議決結果

賛成・・・○ 反対・・・× 除斥・・・除 (議長は採決に加わりません)

議案番号	6月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	欠員	欠員	川島	齊藤議長	竹尾	地福	江澤	高崎
〈 農業委員会委員の任命 〉																		
12	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (藤崎 茂氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
13	業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (竹尾 謙一氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛12・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	除	○	○	○
14	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (石渡 潤一氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
15	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (飯田 隆男氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
16	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (京増 孝一氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
17	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (石橋 義弘氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
18	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (宮田 早苗氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
19	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (岩澤 京子氏) [掲載：3ページ]	同 意 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 令和8年度補正予算 〉																		
20	令和8年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) [掲載：3ページ]	可 決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 財産の貸付・取得 〉																		
21	財産の無償貸付について [掲載：3ページ]	可 決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
22	財産の取得について [掲載：3ページ]	可 決 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 請願 〉																		
1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択 に関する請願書 [掲載：4ページ]	採 択 賛10・否3	○	○	×	○	×	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	×
2	「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」 採択に関する請願書 [掲載：4ページ]	採 択 賛8・否5	×	×	×	○	×	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	×
3	核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出に 関する請願書 [掲載：4ページ]	不採択 賛5・否8	×	×	×	○	×	○	×	×	—	—	○	—	○	○	×	×
〈 発議案 〉 議員提出による議案																		
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出 について [掲載：4ページ]	可 決 賛10・否3	○	○	×	○	×	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	×
2	国における2027年度教育予算拡充に関する意見書 の提出について [掲載：4ページ]	可 決 賛8・否5	×	×	×	○	×	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	×

一般質問

町 の 考 え を 問 う

ここが聞きたい

一般質問とは、議員が、町の事務の執行状況や、将来の方針などについての報告や説明を、町長などの執行機関に求めることです。

6月定例会では、6月10日、11日の2日間で、9名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を、質問順にお知らせします。

※今回の令和8年第3回定例会の会議録（8月下旬発行予定）は、インターネットまたは図書館でご覧いただけます。



- | | | |
|------------|--------------|---|
| 1
(P 9) | 岡野 義広
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 歴史・文化について ▶ 子育て支援について ▶ 京成宗吾参道駅周辺整備について |
| 2
(P 9) | 小早稲 美穂
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 上下水道事業等について |
| 3
(P10) | 酒瀬川 芳子
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 京成宗吾参道駅を拠点としたまちづくりの構想について ▶ 第2次酒々井町個別施設計画【建築物編】について |
| 4
(P10) | 小坂 和也
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 公園におけるボール遊びと安全対策について ▶ 学校へのウォーターサーバー設置等について |
| 5
(P11) | 白井 則邦
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 離婚後共同親権を含む民法改正の対応について ▶ 小中学校の備品購入費について ▶ 子育て支援について ▶ 石油・ナフサの供給不足による影響について ▶ 町内の農業支援について |
| 6
(P11) | 川島 邦彦
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 自治体システム標準化について ▶ 防犯・防災連絡体制について ▶ 京成宗吾参道駅周辺の道路管理について |
| 7
(P12) | 地福 美枝子
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 町長の考えについて ▶ 先導的官民連携支援事業（総合公園の整備）について ▶ 補聴器購入補助の増額について |
| 8
(P12) | 江澤 眞一
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護保険事業について ▶ マイナ保険証について ▶ クラブ活動の移動手段について |
| 8
(P13) | 竹尾 忠雄
議員 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 物価高、資材不足から町民を守れ ▶ 農業問題について ▶ 生涯生活センターについて ▶ 空き家防火対策について |

※各議員の質問事項については、本誌に掲載してある質問を**ゴシック体**で表記しています。



議会の様子（録画）を公開しています

議員下のQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本会議録画中継
はこちらから➡



問 本佐倉城跡の史跡指定区域拡張のために早期に整備計画策定を

答 地元のご理解や関係機関との協議、財政状況を加味しながら検討する



岡野 義広 議員



問 史跡本佐倉城跡の周辺の向根古谷や荒上地区に貴重な遺構が残っており、特に向根古谷は、約2万㎡の面積の中に堀と土塁の遺構が非常に良く残されている。これら貴重な町の財産を今後、国の指定区域として拡張するため、新たな本佐倉城跡整備計画を早期に策定する必要があると思うが如何か。

町長 新たな計画を作成する中で、引き続き地元や地権者の皆様のご理解をいただき、意見を大切に汲み入れ、国、県、関係機関との協議、また、今後の町の財政状況を加味しながら考えていかなければならないと考えている。

問 新たな魅力づくりにつなげるため、現在策定中の「第6次酒々井町総合計画・後期基本計画」の中に、本佐倉城跡及び周辺環境の整備、自然環境、美しい里山、豊かな緑も含めて、総合的に盛り込むべきと考えるが如何か。

町長 本佐倉城跡とその周辺は自然に恵まれた豊かな環境である。後期基本計画においても、この方向性を取り組みを継続して盛り込むべく検討していかなければならない。



計画を検討していく。

シンボルとなる遊具の設置を

問 子育て支援センター「あいあい」の園庭にシンボルとなるような遊具の配置を要望しているが、本年度は設置する予定はあるか何う。

こども課長 今議会に補正予算を計上しており、議決をいただいたら直ちにあいあいのシンボルとなるべく、設置へ向けて事業を進めていく。

宗吾参道駅へのエレベーター設置を

問 「京成宗吾参道駅前広場基本計画」を策定する中で、具体的な駅前広場の位置や規模が検討されるところだが、エレベーター設置を前提として計画するものと考えて良いのか何う。

町長 町としては、駅前広場整備とエレベーターの設置は関連する事業と捉えている。利用者が駅前広場とエレベーターを円滑に移動できるよう、駅前広場計画を検討していく。

問 物価高騰対策として実施する水道料金の免除内容は

答 2ヶ月分の基本料金と従量料金の全額を免除する



小早稲 美穂 議員



問 町では、過去にコロナの影響や原油価格・物価高騰対策として、5,500万円計上し、令和5年11月・令和6年1月の2ヶ月分の下水道料金を全額減免した。今回、千葉県は、国の重点支援地方交付金を活用して、実効性のある物価高騰対策として、水道料金の減免を行うこととし、市町村等が運営する水道事業体に対し、主に一般家庭向けの水道料金の20%減免を4ヶ月間実施するのに必要な財源が交付されることとなったが、具体的な減免内容は各事業体で検討するとなつている。酒々井町の上下水道事業ではどのように考えているか。

上下水道課長 国と千葉県の交付金を活用し、官公署等の施設を除く全ての利用者を対象に8月・9月検針分のそれぞれ2ヶ月分の基本料金と従量料金の全額免除を実施する予定である。

問 県内の水道事業体における減免の方向性について何う

上下水道課長 県内32事業体の全てが料金の免除・減免を行うと聞いている。印旛管内では、酒々井町を除く8

事業体のうち、基本料金のみを4ヶ月免除するのが4事業体（うち1事業体は35%の免除）。基本料金と従量料金の総額の20%を4ヶ月減免するのが4事業体となっている。

問 上下水道管のそれぞれの布設距離・耐用年数を超えている割合及び20年以内の布設管の割合を何う。

上下水道課長 数値は四捨五入したもののなるが、水道管路は144kmで耐用年数40年を経過する管路は63kmで44%、20年以内に布設された管路は33kmで23%となっている。下水道の管路は汚水・雨水合わせて126km、うち耐用年数50年を経過する管渠は16kmで13%、20年以内に布設された管渠は22kmで18%となっている。

問 上下水道管の耐震性のある管（フレキ配管）の割合と布設からの年数を何う。

上下水道課長 水道管路全体の耐震化率は約47%で、災害時に重要な役割を果たす基幹管路の耐震適合率は約69%である。下水道で耐震性の認められる管渠は約23km、約18%である。

問 京成宗吾参道駅にエレベーター設置を

答 利用者が設置目安を上回ったので、引き続き、要望していく



問 京成宗吾参道駅にエレベーター設置を以前から要望しているが、現在の進捗状況を伺う。

町長 昨年度の京成宗吾参道駅の1日平均利用者が、3千人というバリアフリー化の目安を上回る3,180人になったとの朗報が届いた。エレベーター設置実現に向けた大きな要因、追い風として、今後、京成電鉄(株)に対し、引き続き要望していきたい。

問 京成宗吾参道駅は成田市民の利用も多い。エレベーター設置に関し、成田市との協議は行っているのか。

町長 駅近隣の成田市地先で宅地開発が行われるなど、駅周辺の環境が大きく変化している。両市町にとって駅と周辺道路などの整備は重要であるので、エレベーター設置を含め、地域発展のため、成田市と協議していきたい。

問 宗吾車両基地拡充工事が完成すれば、車両基地や駅前周辺は車や人で、まちづくりに影響を及ぼすことが予想される。そのような中、周辺道路の整備とそのロードマップについて、どのように考えているのか伺う。また、駅

前広場の構想はできているのか。

町長 今年度「京成宗吾参道駅前広場基本計画策定及び周辺道路交通ネットワーク検討業務」を実施し、その中で、具体性や現実性を高めながら、計画の策定につなげていきたい。

生涯生活センターの使用停止理由は

問 個別施設計画に基づく、生涯生活センターは、令和9年度から使用停止とされているが、使用停止の理由と今後の予定を伺う。

町長 利用者が一部の団体に限られており、施設等の老朽化が進んでいることから、令和9年度から令和13年度の間に解体することを前提に、関係者と調整を進めていく。跡地活用は隣接の町有地と一体的に検討していく。

問 生涯生活センターは、シルバー人材センターの活動拠点でもあるが、シルバー人材センターの反応を伺う。

くらし安全協働課長 代替地の相談があったが、同等の公共施設がないので、早めの検討をお願いした。先の理事会でも議題になり、今後、検討していくこととなった。

問 公園におけるボール遊び禁止 子どもたちが遊べる環境整備を

答 安全面などを考えると禁止はやむを得ない



問 公園でのボール遊びについて、「硬いボールは禁止」という趣旨が、「ボール遊び全面禁止」と受け取られている現状について、町としてどのように認識しているのか。

まちづくり課長 過去に幼児や高齢者にボールが接触する事案が発生したことから、一部の公園でボール使用を禁止している。また、周辺住宅の壁や窓を壊したり、道路への飛び出しの危険もあることから、ボールの利用ができないことはやむを得ないと考えている。

問 公園利用者及び周辺歩行者等の安全確保の観点から、防球フェンスやネット設置等の安全対策についてどのように考えているのか。

まちづくり課長 ボール利用を想定するならば安全確保や周辺環境への配慮の観点から、一定の有効性があるものと認識している。



問 ボール遊びをしているだけで住民から注意や苦情を受ける事例も耳にしているが、酒々井町都市公園条例にはボール遊びそのものを禁止する規定はなく、日中には中央台公園でゲートボールをしている姿も見受けられる。公園において禁止されている行為と、許容される利用行為について、利用者や地域住民へ十分に周知されていると考えているのか。

まちづくり課長 公園利用者にルールとして看板を設置しているが、先進自治体の事例を参考に利用者への周知方法を調査・研究していきたい。

問 町内の一部の公園では堅いボールの使用禁止を呼びかける看板が設置してあるが、柔らかいボールについては、硬いボールと比較して危険性や損傷の可能性は低いと考えられることから、都市公園条例の「公衆の公園の利用に支障を及ぼす行為」や「公園を損傷する行為」にはあたらないのではないかと。

まちづくり課長 ボール使用の看板は先進自治体の事例を参考に精査していきたい。

問

共同親権導入により、不利益は生じているのか

答

そのような運用は行っていない



白井 則邦議員



問 離婚後、共同親権導入により、父母の収入が合算され、今までであれば支援を受けられた世帯が支援を受けられなくなるようなことはあるのか。

副町長 そのような運用は行っており、該当するような事案もない。

教材備品等の予算が減額している

問 令和8年度当初予算において、備品購入費が、小学校は教材備品・図書、中学校は図書が減額している。減額の理由と、減額による影響を伺う。

学校教育課長 予算作成時に各小・中学校から要望を聞き、備品の整備状況や過去の整備実績、緊急性などを勘案し、予算を計上している。学校図書費は、各小・中学校からの要望や図書室の蔵書率等の現状を踏まえ、また、近隣市町の予算額を参考に予算を計上している。さらに小・中学校の学校図書と町立図書館の司書が連携し、図書館の書籍を貸し出して対応し、書籍を活用した学習が充実するようにしている。

親子関係形成支援事業の取組状況は

問 子育てに悩みや不安を抱える保護者を対象に、子どもとの関わり方や適

切な養育方法を学ぶ取り組みである親子関係形成支援事業（ペアレントトレーニング等）の取り組み状況を伺う。

健康福祉課長 令和7年度は、各小学校での就学時健診時に、簡易版のペアレントトレーニングとして、子ども家庭支援員が講師となり、講座を実施し、令和8年度も同様の内容で予定している。本来ペアレントトレーニングは、年4～5回程度の講座を通して学ぶものなので、令和9年度は年間を通して講座を実施できるよう検討していく。

ナフサの供給不足による影響は

問 石油・ナフサの供給不足による指定ごみ収集袋の確保やごみ収集への影響を伺う。

経済環境課長 指定ごみ収集袋を製造販売している2社に確認したところ、2社とも製造に影響はないとのことである。ごみ収集の影響については、委託している2社に確認したところ、現在では支障はないが、今後影響が長引く場合には、高品位尿素水「アドブル」やエンジンオイル等が不足することも考えられるとのことである。

問

防災行政無線と町SNSの使い方は

答

防災行政無線はSNSと連動するが、火災時は連動しない



川島 邦彦議員



問 5月連休中、町内で空き巣被害が多発していると報道があったが、防災行政無線による連絡はなかった。一方で連休明け、町SNSで一般的な注意喚起が行われたが、防災行政無線と町SNSの使い方を伺う。

くらし安全協働課長 事前に録音する防災行政無線はSNSと連動するが、火災時は町は把握できないので、防災行政無線のみの発信となっている。

問 警察や消防と行政の情報共有は日常的にどう対応されているのか。

くらし安全協働課長 佐倉警察署から月2回の犯罪状況に関する情報提供を受けている。町民から不審者等の情報等が役場にあった場合は佐倉警察署に連絡し、情報共有を行っている。消防組合、酒々井消防署とは火災関係等、常に情報共有を図っている。

問 警察や消防から直接、防犯・防災連絡はできないのか。

くらし安全協働課長 火災の際は、消防組合から直接防災行政無線を利用し、火災情報を発信している。高齢者等行方不明の捜索協力は、時間外や休日の

際は、佐倉警察署から消防組合を通じて、防災行政無線を利用している。

自治体システム標準化のメリットは

地方自治体の20の業務システムを2025年度までに全国標準化する計画について次の点を伺う。

問 標準化に伴い、住民のメリットはあるのか。また、業務効率化はどうか。

総務課長 住民の皆様は、全国共通のシステムになることで、全国どこでも均一な行政サービスが受けられる。職員の業務面では法令改正等、効率化が図りやすくなったものと認識している。

町道管理の徹底を

問 ちびっこ天国駐車場前の町道が水溜まりとなる状況を把握しているのか。また、補修計画はあるか。

まちづくり課長 排水枅に落ち葉等が集まり、排水不良を起しているのので、降雨時は清掃を実施している。今後、枅蓋の改修等を検討している。

問 国道51号線とちびっこ天国間は歩道設置が必要ではないか。

町長 歩道設置は必須と考えており、今年度、計画を策定していきたい。

問

平和憲法第9条の改憲について
町長の考えは

答

国民を含めた議論が重要

問 今、憲法9条に自衛隊を入れるなど、平和憲法を変える動きがあるが、この件について伺う。

町長 国政における丁寧な議論や国民が議論に参加できる機会を設けることが重要である。なお、地方公共団体の長の立場から、改正について見解を述べることは差し控える。

問 外国人を排除する排外主義について、どう考えているのか。

町長 排外主義的な風潮の広がりは、社会的課題と指摘されており、注視すべき状況にある。

町民の声を聞いて再整備すべき

総合公園の再整備計画（案）が示されたが、次の点を伺う。

問 サッカー場はあるのか。

まちづくり課長 フットサル場の設置を計画している。

問 民間主導の有料施設となり、若者視点が多いと感じる。高齢者や幼い子を持つ世帯への視点はあるのか。町民の声を聞くべきである。

まちづくり課長 散策路など再整備することで散歩やジョギング等も楽しめる



地福 美枝子 議員



るほか、高齢者向けの健康増進器具の設置も予定している。

問 新たな財源はあるのか。

まちづくり課長 スポーツ振興くじ助成金や社会資本整備総合交付金など、有益となる財源を検討している。

問 現在の進捗状況を伺う。

まちづくり課長

町民アンケートや各協会へのヒアリングを実施している。

今後、官民連携事業の準備支援業務を発注する予定である。

補聴器購入に対する補助金の増額を

問 補聴器購入補助金の予算は30万円で上限額は一人1万円である。予算総額は増えたが、一人あたりの補助金は増えていない。増額を求める。

健康福祉課長 多くの方に利用してもらうため、上限額は同じだが、人数分を増やして予算措置している。



問

中学校部活動の移動手段の現状は

答

問題なく安全管理を行っている

問 中学校のクラブ活動における移動手段の現状について伺う。また、県教育委員会から、どのような指導があったのか伺う。

教育長 部活動の移動手段は、公共交通機関を利用しているが、一部の部活動においては、マイクロバスや大型バスを利用している。その際は、事業許可を受けたバス会社を通して手配し、運転手の免許証を必ず確認し、教諭が必ず一名以上同乗している、県教育委員会からは、無理のない計画を立てること、ナンバーの色の確認、事業者から運送引き受け書の交付やその内容を確認すること等の通知を受けたが、この通知内容を中学校で確認したが、安全管理に問題のある対応はなかった。

介護保険認定者の推移は

介護保険事業について伺う。

問 令和7年度末の各段階の認定者数と令和6年度末との比較について伺う。

健康福祉課長 要支援1の方は113人で10人増加、要支援2は137人で18人減少、要介護1は256人で1人減少、要介護2は181人で23人増加、



江澤 眞一 議員



要介護3は110人で10人減少、要介護4は157人で18人増加、要介護5は85人で4人増加、認定者数の合計は1,039人で26人増加している。

問 令和7年度末の各施設の利用状況と令和6年度末との比較について伺う。

健康福祉課長 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は126人で11人増加、介護老人保健施設は46人で5人増加、介護医療院は5人で3人増加となっている。

問 介護保険料の改正により歳入が増えたが、基金に与える影響について、どのように捉えているのか伺う。

健康福祉課長 保険料収入が増加することにより、持続可能な介護保険制度の実現が図られるための基金の増額につながると捉えているが、介護給付費は年々増加している状況にある。

マイナ保険証の登録状況は

問 マイナ保険証の登録状況を伺う。

健康福祉課長 令和8年2月時点で、被保険者3,495人中、2,403人が登録しており、登録率は69%である。

問 物価高騰や資材不足、町民の暮らしを守る支援が必要

答 国の交付金を活用して、物価高騰対策を実施している



竹尾 忠雄 議員



問 アメリカとイスラエルによるイランへの攻撃は重大な国際法違反である。アメリカの無法な「力による支配」は同盟国からも批判されている。自治体として町民の暮らしを守る対策が必要と考えるが、町の対応を伺う。

町長 国の交付金を活用して、物価高騰対策を実施しており、今後もさらに事業を進める準備を進めている。

問 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の額と住民への支援額は、企画財政課長 令和7年度は1億8,363万7千円、令和8年度は791万9千円が交付され、1億1,171万円を支援に使い、残り7,984万6千円の使い道は庁内で検討している。

農業は大切な産業

問 農業は大切な産業と思うが、町長の認識を伺う。

町長 重要な産業であり、更なる振興と地域活力の向上に取り組んでいく。

問 食糧法の改正案を高市内閣は国会に提出されたが、これで安定的な米の供給ができるのか。再生可能な米価の実現は可能なのか、町長の認識を伺う。

町長 今回の改正案は、安定供給につながり、価格の急激な変動を防ぐうえで、一定の意義があると考えている。

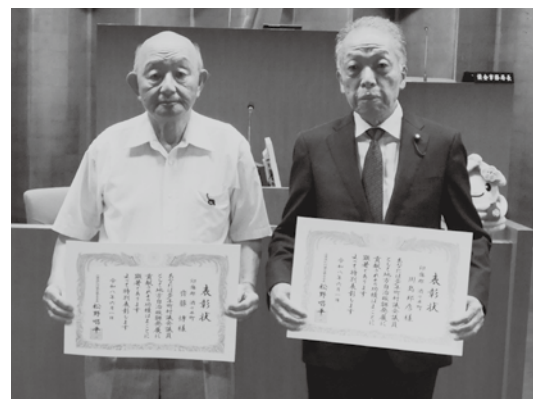
消防本部と空き家情報の共有化を

問 総務省消防庁は昨年11月、大分市佐賀関で発生した大規模火災を踏まえ、「密集住宅市街地」にある空き家の防火対策に関する消防本部向けの手引きを策定した。手引きは「延焼リスクが高い空き家の管理状態」「草木が生い茂っている」「大量の落ち葉や枯草が放置されている」等々の情報を共有するよう求めている。消防本部と自治体の担当部署が連携強化し、情報のデータ化が必要と考えるが、町の考えを伺う。

まちづくり課長 当町には対象となる「密集住宅市街地」はないが、適切に管理されていない空き家が存在していることは認識している。町独自に空き家情報のデータは保有しているが、他団体との情報共有が可能なシステムは導入していない。当面は情報を互いに提供する方法を考えているが、今回のガイドラインを参考に具体的な方策を検討していく。

受賞おめでとうございます

自治功労者特別表彰



齊藤 博 議長 川島 邦彦 議員

町議会議員として多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、齊藤博議長、川島邦彦議員が、6月1日に千葉県町村議会議長会から自治功労者特別表彰を受けられました。

6月定例会初日の開会前に議場において伝達式が行われ、大石副議長より表彰状が手渡されました。

現地調査を実施

6月2日に「青少年交流の家」や大規模改修工事が終了した「保健センター」等の現地調査を実施し、担当者から、施設の概要や状況等について説明を受けました。

長年続いていた「青少年交流の家」を巡る裁判は、令和8年3月に決着し、建物が町へ完全に引き渡されたことで、今後の取り扱いについて、協議・検討を進めていくとの報告がありました。



青少年交流の家

酒々井町健康推進員協議会

健康推進員の皆さんに

聞きました

- ① 酒々井町はどんなところ？
- ② 活動の中でやりがいを感じることは？
- ③ 町にどのようなことを期待しますか？



こべつひろ子 小別當 ひろ子さん

- ① 四季を感じ、歴史と誇りのある町、近隣には多くの病院と鉄道の走る、穏やかな所です。
- ② 参加者からの「参考になりよかった」との声や子ども達の元気・笑顔が、活動するやりがいです。
- ③ 町は坂や狭い道が多く、外出困難な方もおり、停車箇所の多い巡回車が有ると便利になるのではと思います。



むらかみ えつこ 村上 悦子さん

- ① 第二のふる里です。自然が豊かで穏やかな気候です。近隣に大きな病院と駅が4つあり、便利な町です。
- ② 受講後、参加者みなさんが笑顔になった時にやって良かったと思います。
- ③ 緑豊かな、子どもの声が聞こえる、安心して過ごせる町。



たご かよこ 多胡 観世子さん

- ① 2 鉄道を使え、高速道路も整備され、酒々井アウトレットで名も知れた歴史ある町です。
- ② 生活習慣病に気をつける調理実習や小学5年生に解りやすく説明する活動を一緒に楽しく出来る事です。
- ③ 子どもから高齢者までが自然に健康になれる環境づくりを、町民の声を活かして良い町になるよう期待します。



おた ちえ 大田 千恵さん

- ① 歴史や文化自然もあり都心や成田空港へのアクセスのバランスが良い町だと思います。
- ② 地域の方達との交流で楽しんでもらえ笑顔が見られる事がとてもうれしいです。
- ③ 若い世代も高齢者も安心して暮らせる町であってほしい。

健康推進員は、町長からの委嘱を受け、生活習慣病予防、介護予防、食育の推進を目標に令和8年度は26名で活動しています。保健センターと地域住民との橋渡し役として、各検診の受診勧奨、健康教室などの健康づくり活動のお手伝い、健康に関する情報の提供などを行っています。地域の身近な存在として、一人ひとりの健康づくりを応援しています。

委員長 岡野 義広
副委員長 小坂 和也
委員 大石 法子
委員 小早稲 美穂
委員 木内 信子
委員 綿貫 薫



暑さ指数が気になる季節ですが、議会で大切なのは「温度」より「熱意」。皆様の声を力に、実りある議論を重ねてまいります。

編集にあたって

次の定例会は、9月1日に開会する予定です。会期の予定は、町ホームページでお知らせします。詳細は、議事事務局にお問い合わせください。
☎ (382) 2331

9月定例会のお知らせ